

快拳!日展特選

武雄町中町在住の山口耕雲さんが第39回日展(日本美術展覧会)の「書」の部門で見事「特選」を受賞されました。この部門での特選受賞は県内初の快拳となりました。

昭和43年、28歳の時に日展初入選となって以来、これまで26回の入選を果たしており、今回、「蘇東坡(そとうぼ)詩」が書の部門1万点以上の中から上位10作品に選ばれました。

6月から準備を始め、一字一字納得のいく文字を拾うように500枚以上書き綴り、疲れたら散歩、そしてまた書くを繰り返す。律動感のある字は生命力にあふれており、まるで文字が動いているかのような作品です。

「体力と辛抱強いのがとりえで、この性格が実を結んだのでしょうか。これからも自己に満足せず、次の目標を立て技術と腕を磨いていきます。」と話されていました。

日展巡回展は来年3月29日～4月20日の期間中、福岡市美術館で開催予定です。



日本一の若楠ポークに舌鼓

11月23日(祝)に若木町の本部ダム広場周辺で「第21回大楠の里若木町湖水まつり」が行われました。

秋晴れのすばらしい天候に恵まれ、約1200人の来場者でにぎわいました。

恒例のロードレース大会から始まり、会場では餅つきや若木小学校児童による若木太鼓の披露、GABBAやアマチュアバンドのコンサート、ヨサコイ踊りなどたくさんのイベントが行われました。

若楠ポークを味わう「日本一を食う会」ではたくさんの人たちが肉質日本一の肉を笑顔でほおばっていました。



関西大学と連携協力

11月26日(月)に調印式を行い、大阪府吹田市の学校法人関西大学と連携協力に関する協定を結びました。

この協定は、地域づくり、教育・文化の振興、人材育成、福祉の増進、産業振興等の分野で相互に連携し、活力ある地域づくりと大学の活性化に寄与することを目的としています。

これにより、関西大学の豊富なノウハウを活用した市民公開講座の開催や、市内小中学生によるスポーツ交流などに取り組むこととしています。

